



花シリーズ

延原 武春作品展 (2015.10.6~10.16) より5点
梅田画廊

27回生 延原 武春



27 延原武春さん(日本テレマン協会前代表、現音楽監督、オーボエ奏者)

日本テレマン協会 HP より

日本テレマン協会は延原武春さんによって創設されたバロックからベートーヴェンまでを専門とする室内楽団です。「テレマン室内オーケストラ」と「テレマン室内合唱団」を有し、また「日本テレマン協会後援会」という支援団体がサポートをしています。

設立は 1963 年。当時大阪音楽大学の学生だった延原さんが「バロック音楽の普及・啓蒙」と「楽しさ」をテーマに、新しい演奏会の可能性を追求すべく「テレマン・アンサンブル」を結成したのがその始まりです。「定期演奏会」のほか、聴衆とともにサロンを形成しようとした「マンスリーコンサート」、宗教音楽を教会の聖堂で奏でる「教会音楽シリーズ」などを軸とし、関西を中心に全国的な活動を展開。1977 年「文化庁芸術祭優秀賞」、1986 年「第 17 回サントリー音楽賞」を関西の団体としては初めて受賞しました。

2008 年にはベートーヴェンの交響曲全曲をクラシカル楽器にて公演。これが引き金となって延原さんは 2009 年ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章しました。以後延原さんは日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団などを指揮し好評を博したことは皆さんにとっても記憶に新しいことと思います。

現在は「音楽団体が社会に対して出来ること」をテーマに、「琵琶湖の水質浄化」「街と音のコラボレーション」「ボルネオの森林保全プロジェクト」「関西発クラシック『国産』宣言」をはじめ様々なオピニオンをかかげた新しい団体として生まれ変わりつつあります。



延原武春さんと油絵

延原さんは平成 26 年 4 月 19 日(日)に開かれた「ちさと会」親睦会で「私の音楽人生」の題で記念スピーチをされました。自分は将来絵描きになるつもりで、グレース幼稚園の頃から宮武先生という素晴らしい方について、油絵を習われたそうです。ヴァイオリンやピアノも習わされたそうですが、たまたま豊中に転居されすぐそばにある大阪音楽大学附属高校に入学されなかったら、今の延原さんはなく画家として身を立てられていたかも判りません。現在も油絵を描き続け、大阪や神戸で個展を開かれています。

スピーチの詳細は、ちさと会誌「ちさと」2号をご覧ください。

テレマンについて 日本テレマン協会 HP より

ゲオルク・フィリップ・テレマン。1681 年 3 月 14 日～1767 年 6 月 25 日。後期バロック音楽のドイツ人作曲家。同時代のヴィヴァルディ、バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。延原さんはテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、彼の名をかかげたグループを結成しました。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。食事の時に奏でる曲集という発想自体にテレマン独自の人に対する優しさがあると言えるかもしれません。

日本でテレマンの名前を知らぬ人が多いのは、ひとえに学校の音楽教科書でテレマンの名前が無視されたせいと思われる(会誌「千里山」15号)。